

竹原市決算特別委員会

令和6年9月3日開会

審査項目

- 正副委員長の互選
- 審査日程
- 資料要求審議
- 前年度指摘・意見等への報告、質疑

(令和6年9月3日)

出席委員

氏 名	出 欠
今 田 佳 男	出 席
村 上 ま ゆ 子	出 席
松 本 進	出 席
宇 野 武 則	出 席
吉 田 基	出 席
道 法 知 江	出 席
川 本 円	出 席
堀 越 賢 二	出 席
高 重 洋 介	出 席
山 元 経 穂	出 席
下 垣 内 和 春	出 席
蕎 麦 田 俊 夫	出 席
平 井 明 道	出 席

委員外議員出席者

氏 名
大 川 弘 雄

職務のため会議に出席した者は、下記のとおりである

議 会 事 務 局 長 笹 原 章 弘

議 会 事 務 局 係 長 木 原 昌 伸

説明のため会議に出席した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名
市 長	今 榮 敏 彦
副 市 長	新 谷 昭 夫
総 務 部 長	向 井 直 毅
企 画 部 長	國 川 昭 治
市 民 福 祉 部 長	森 重 美 紀
建 設 部 長	岡 崎 太 一
教 育 次 長	沖 本 太
教 育 委 員 会 参 事	大 橋 美代子
会 計 管 理 者	宮 地 康 子

午前１１時３０分 開会

議長（大川弘雄君） おはようございます。

ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

初めての委員会でありますので、委員長の互選をしていただくわけですが、委員長が互選されるまでの間、委員会条例第１０条第２項の規定により、年長委員が臨時委員長の職務を行うこととなっております。出席委員中、宇野武則委員が該当されますので、宇野武則委員に臨時委員長の職務をお願いいたします。

それでは、お願いします。

臨時委員長（宇野武則君） それでは、委員会条例第１０条第２項の規定によりまして、委員長が互選されるまでの間、臨時に委員長の職務を行いますので、何とぞよろしく御協力のほどお願い申し上げます。

これより決算特別委員会委員長の互選を行います。

お諮りいたします。

互選の方法につきましては、指名推選によりたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

臨時委員長（宇野武則君） 御異議なしと認めます。よって、互選の方法は指名推選によることに決しました。

お諮りいたします。

指名の方法は、臨時委員長において指名いたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

臨時委員長（宇野武則君） 御異議なしと認めます。よって、臨時委員長において指名することに決しました。

決算特別委員会委員長に今田佳男委員を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま臨時委員長において指名いたしました今田佳男委員を決算特別委員会委員長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

臨時委員長（宇野武則君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました

今田佳男委員が決算特別委員会委員長に当選されました。

今田佳男委員の発言を求めます。

委員長（今田佳男君） 委員長に当選させていただきました今田です。どうぞよろしくお願いいたします。

臨時委員長（宇野武則君） 皆様の御協力によりまして滞りなく委員長が決定いたしました。厚く御礼申し上げます。

今田佳男委員長と交代いたします。

〔委員長交代〕

委員長（今田佳男君） ただいまの出席委員は13名であります。定足数に達しておりますので、これより決算特別委員会を開会いたします。

副委員長の互選についてを議題といたします。

お諮りいたします。

互選の方法につきましては、指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） 御異議なしと認めます。よって、互選の方法は指名推選によることと決しました。

お諮りいたします。

指名の方法は、委員長において指名いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） 御異議なしと認めます。よって、委員長において指名することに決しました。

決算特別委員会副委員長に村上まゆ子委員を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま委員長において指名いたしました村上まゆ子委員を決算特別委員会副委員長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました村上まゆ子委員が決算特別委員会副委員長に当選されました。

村上まゆ子委員の発言を求めます。

副委員長（村上まゆ子君） ただいま副委員長に御指名いただきました村上まゆ子でございます。委員長の補佐を行い、円滑な委員会運営に努めてまいりたいと思っております。皆様、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

委員長（今田佳男君） 挨拶が終わりました。

議事の都合により、暫時休憩いたします。

午前 11 時 35 分 休憩

午前 11 時 36 分 再開

委員長（今田佳男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、委員席についてお諮りいたします。

委員席につきましては、ただいま御着席のとおりといたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） 御異議なしと認めます。よって、ただいまの御着席のとおりに決しました。

議事の都合により、暫時休憩いたします。

午前 11 時 36 分 休憩

午前 11 時 37 分 再開

委員長（今田佳男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ここで、市長からの御挨拶をいただきます。

市長。

市長（今榮敏彦君） 失礼いたします。

決算特別委員会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本日から決算特別委員会において本定例会に提案をさせていただいております一般会計、特別会計 6 会計及び下水道事業会計の令和 5 年度決算について審査をお願いするものでございます。御就任をされました今田委員長、村上副委員長をはじめ委員各位におかれましては、何とぞ慎重に御審査をいただいた上、御認定を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

委員長（今田佳男君） 挨拶が終わりました。

議事の都合により、暫時休憩いたします。

午前 11 時 38 分 休憩

午前 11 時 38 分 再開

委員長（今田佳男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査方法についてに入ります。

審査方法については、予算特別委員会と同様の方法によりたいと考えております。

令和 6 年度決算審査要領（案）を御覧ください。

個別審査については、各部ごとに行い、決算書のページを追って歳入については費目ごとに、歳出については事業ごとに質疑をしていただきたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） 御異議なしと認めます。よって、そのような方法でお願いいたします。

次に、質疑の方法についてですが、一問一答で行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） 御異議なしと認めます。よって、質疑の方法は一問一答で行います。

委員の皆さんにおかれましては、令和 5 年度の事業についての決算審査でございます。審査のための質疑につきましては、要点を明確にして質疑いただきますようお願いいたします。

次に、全体審査においては、事前通告書を 9 月 20 日 12 時までに提出していただき、正副委員長において内容確認等を行って、重複する質疑等は調整させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

その他、審査の方法で何か御意見がありますか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） ないようですので、次に審査日程についてですが、お手元に決算特別委員会審査日程表（案）を配付しておりますので、この日程で進めたいと思います。これに御異議ありませんか。

よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） 異議なしと認めます。よって、決算特別委員会審査日程表（案）のとおり進めることにいたします。委員の皆さんの御協力をお願いいたします。

次に、資料要求についてですが、資料については審査に必要な資料ということで、皆さんで審議いただき、要求の合意をいただいたものについて、決算特別委員会として委員長から議長へ依頼し、議長名をもって市長に資料要求を行っているものです。

必要な資料については、この場で審議していただくような方法をお願いいたします。

事前に松本委員からの資料要求がありましたので、内容を配付しております。順に審議を行い、他の委員からの要求もあれば、併せて審議をしていきたいと考えております。本日1度の資料要求で済みますように御協力をお願いいたします。

それでは、松本委員に御説明をしていただきます。

松本委員。

委員（松本 進君） 毎年決算で資料要求をさせていただいて、ちょっと訂正部分がありますので、そこをちょっと訂正したいと思います。

（3）の④上下水道料金と書いてあるのですが、上水道、そこは削除して訂正させてください。それから、（9）についてですけれども、これも取り下げるということで訂正したいと思います。

以上ですけれども、よろしくお願ひしたいと思います。

委員長（今田佳男君） 今、松本委員のほうから資料要求の訂正ということで、2か所訂正ということで説明がありました。何か御意見があればお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） それでは、松本委員からの資料要求について本委員会として要求することに御異議はありませんか。

よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

議事の都合により、11時50分まで休憩いたします。

午前11時43分 休憩

午前11時44分 再開

委員長（今田佳男君） 説明時間より早いですが、そろいましたので、休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、副市長から令和5年度の決算特別委員会委員長報告における意見等への進捗状況について報告をいただき、その後委員からの質疑を行います。

それでは、副市長からお願いいたします。

副市長。

副市長（新谷昭夫君） 令和5年度決算特別委員会におきまして意見がございました事項の主なものにつきまして、その進捗状況等を御報告申し上げます。

生活バス路線維持補助金につきましては、市民の日常生活の利便性確保に必要なバス路線を維持するため、事業者に対し補助金を交付しているところでございますが、今年度、地域公共交通計画を策定することとしており、計画策定に伴い、実施した交通事業者、市民アンケート調査結果や利用状況、地域の特性等を踏まえ、地域において持続可能で利用しやすい公共交通ネットワークの構築について検討してまいります。

次に、RPAサポート業務につきましては、令和4年度の職員への操作研修を踏まえ、令和5年度においては課題となる業務を個別に抽出し、RPAツールのシナリオ作成のサポートを行い、財務会計の支払い業務や外部メール送信業務等に活用しております。引き続き、各職員が課題となる業務において、RPAツールのシナリオ作成についてサポートしながら、業務プロセスの自動化、効率化に努めてまいります。

次に、斎場の施設管理につきましては、施設の長寿命化を図るため、建物や火葬炉設備について計画的な維持管理が必要であると考えております。このため、火葬炉設備については、火葬炉の修繕計画に基づき、劣化が進む前に改修を行う予防保全を計画的に実施しており、令和5年度においては、3炉の火葬炉設備のうち、2号炉の操作盤電気部品と3号炉の主燃バーナーの取替えを行いました。また、建物については、今後火葬炉の修繕計画を更新する際に、火葬炉設備と併せて建物の老朽化について点検、診断を行うことを検討しており、その点検、診断結果に応じ、予防保全の観点に立って定期的な修繕を行うこ

とにより、施設の長寿化に努めてまいります。

次に、未来技術人材育成事業につきましては、企業や自治体向けにイノベーション支援を行っている企業と連携し、全国の高等専門学校生を対象とした起業家プログラムを実施したところ、令和4年度は9校37名、令和5年度は12校49名の参加があり、うち1名が県内のスタートアップ事業者で就職し、広く活動を行っているところであります。また、令和5年度から竹原発スタートアップ支援事業としてたけはらDXを進め、産業を支える人材を確保、育成、定着させることにより、本市の産業を活性化し、にぎわいを創出するため、地域課題の解決に係る実証事業や起業に向けた支援を行う事業者への支援を行っております。令和5年度においては、6社のスタートアップが本市をフィールドとして地域課題の解決及び新たな事業の創出に向けた実証事業を行い、うち1社が市内に拠点を設立、2社が本社移転を検討するなど、企業誘致のみならず人材の誘致に向けて着実に取組を進めているところであります。

今後におきましても、たけはらDXを継続し、スタートアップと市内事業者との協業による実証活動や多種多様な交流、連携により、市内事業者の新たな事業創出や事業拡大、人材の誘致、育成等につなげてまいります。

次に、海外派遣業務につきましては、選考された生徒に対し、様々な課題を課しながら派遣の前後の研修を行い、代表生徒としての自覚と責任を持たせるとともに、研修での学びを各学校で報告会により全生徒に共有するほか、ハワイ州の姉妹校と市内中学校等とオンラインによる交流を行うことにより、全生徒への学びを確保しております。引き続き、選考された生徒、選考されなかった生徒に関係なく、グローバル化の進展に対応した人材の育成に努めてまいります。

次に、収入未済額の収納対応につきましては、税をはじめ各種収入金の収納率向上と滞納繰越額の縮減について総合的かつ効果的に取組を推進するため、竹原市債権確保対策委員会を設置し、債権確保に努めているところであります。この委員会において、令和5年度から令和9年度まで5年間における目標数値や取組内容を定め、収納実績の分析や効果が上がった取組など収納事務のノウハウを共有することにより、目標達成に向けて取り組んでおります。引き続き、さらなる収入未済額の縮減、収納率向上に努めてまいります。

以上、いただいた意見に対する現在の進捗状況等でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

委員長（今田佳男君） 報告が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） ないようですので、令和５年度の決算特別委員会委員長報告における意見等への進捗状況等についての質疑はこれで終了いたします。

その他、何かございますか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） ないようですので、次回は９月１７日火曜日１０時から第２回の決算特別委員会を行います。

次回は、総務部、企画部、会計課、行政委員会関係の集中審査となります。１日での審査となりますので、委員の皆さんは質疑の準備をよろしくお願いいたします。

以上で第１回決算特別委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。ありがとうございました。

午前１１時５０分 散会